

② 公開実用新案公報 (U) 昭60-48931

③Int.Cl.

B 23 Q 5/40
F 16 H 25/20

識別記号

庁内整理番号

6719-3C
7812-3J

④公開 昭和60年(1985)4月6日

審査請求 有 (全4頁)

⑤考案の名称 間欠送り用部材

⑥実願 昭58-140169

⑦出願 昭58(1983)9月12日

⑧考案者 福家 隆通 東京都大田区雪谷大塚町1番7号 アルプス電気株式会社
内

⑨出願人 アルプス電気株式会社 東京都大田区雪谷大塚町1番7号

⑩代理人 弁理士 武頤次郎

⑪実用新案登録請求の範囲

進み角度が零で直線状の底部を有する溝部を、軸方向に順次ずらして多数建設することにより、軸の外周部に1つの螺旋状溝を形成し、かつ、隣接する前記溝部の接続部分の底部に送り用の面取り部を施したこととする間欠送り用部材。

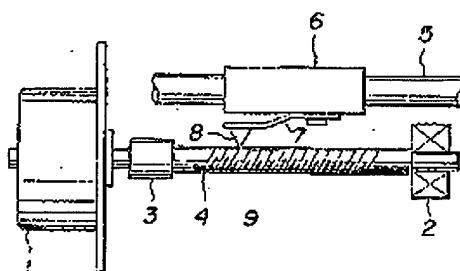
図面の簡単な説明

第1図は送り機構の概略図、第2図は従来の間欠送り用部品の進み角を示す説明図、第3図乃至第11図は本考案の実施例を示すもので、第3図

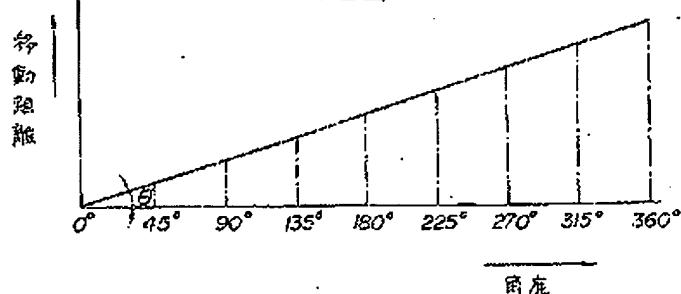
はパイプの側面図、第4図はパイプの正面図、第5図は刃の拡大断面図、第6図は刃の展開状態を示す説明図、第7図、第8図、第9図はパイプによる被加工物の切削状態を示す側面図、第10図は本考案の間欠送り用部材の正面図、第11図は第10図に示す間欠送り用部材の右側面図、第12図は第10図に示す間欠送り用部材の進み角を示す説明図である。

15……軸、16……溝部、17……面取り部、18……螺旋状溝。

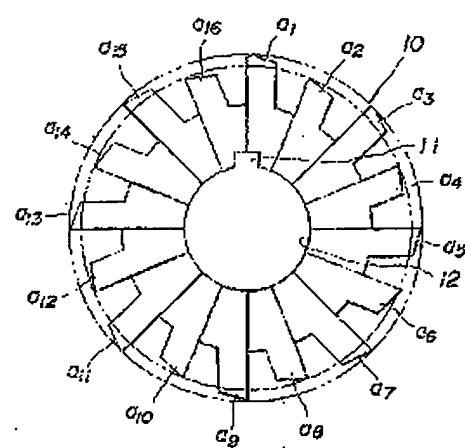
第1図



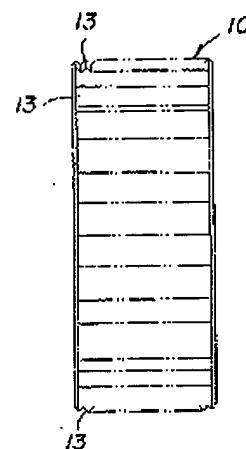
第2図



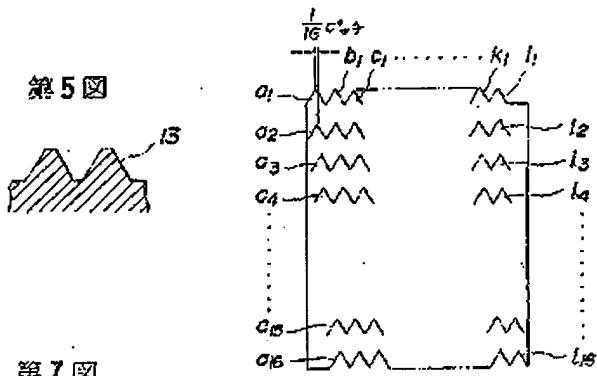
第3図



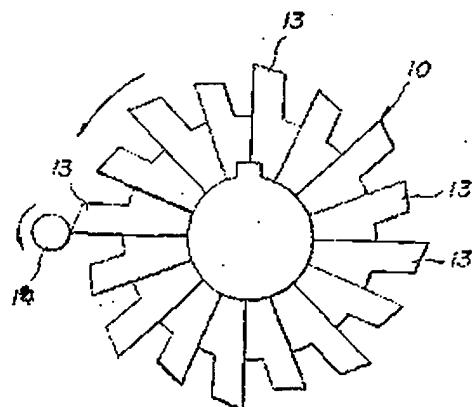
第4図



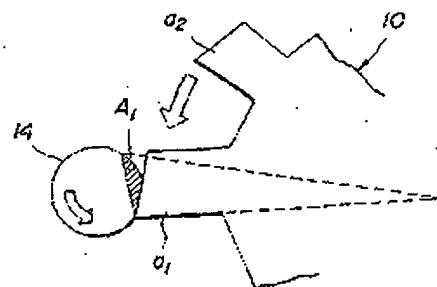
第6図



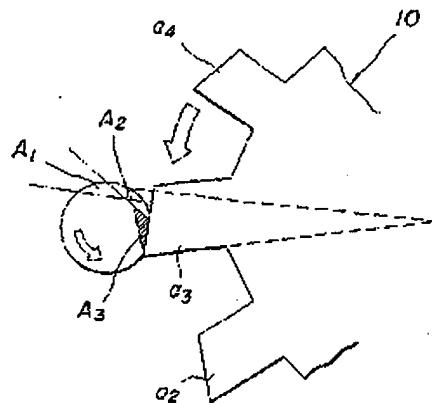
第7図



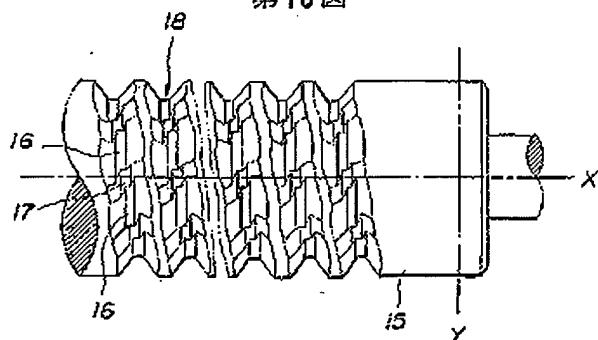
第8図



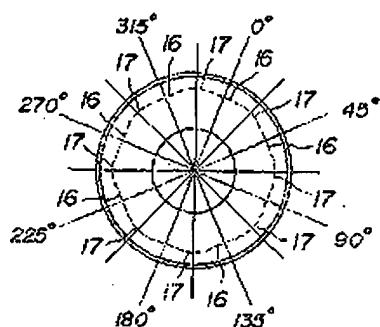
第9図



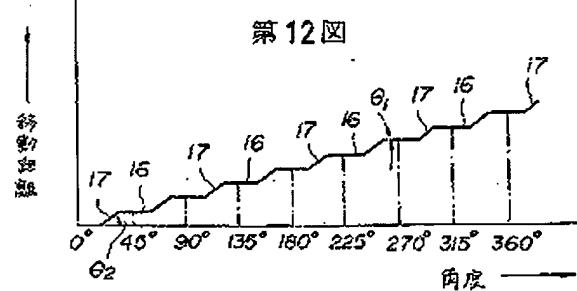
第10図



第11図



第12図



補正 昭59. 6. 23

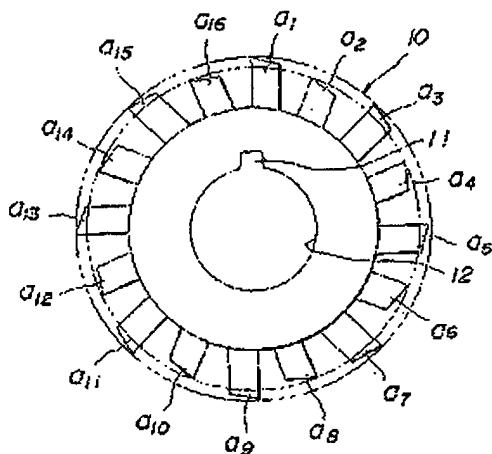
実用新案登録請求の範囲を次のように補正する。

②実用新案登録請求の範囲

進み角度が零で直線状の底部を有する溝部を、

図面を次のように補正する。

第3図



Japanese Utility Model Laid Open No. 48931/1985

Japanese Utility Model Laid Open No. 48931/1985

A member for an intermittent feed

What is claimed is:

A member for the intermittent feed characterized in that one spiral groove is formed in the circumference part of the shaft and a chamfer for the feed is provided in the bottom of the connection part adjacent to the above groove by moving the groove part with the degree zero of an angle of lead which has straight line-shaped bottom into the shaft direction, building many connected to the circumference part of the shaft part.

Brief description of the drawings

Figure 1 is an outline of the feeding mechanism, Fig 2 is an explanatory drawing of the prior art, and Figures 3-11 are the embodiments of the present idea.